

The background image shows a park scene with cherry blossom trees in bloom, a paved walkway, and a large fountain with two tall, dark, rectangular pillars. The fountain is filled with water that has a greenish tint. The sky is overcast.

実証運行計画（案） 説明資料

（前回会議結果を踏まえた変更を実施）

令和4年8月2日

(1) 実証運行の目的

令和3年度に策定した森町地域公共交通計画に位置づけられる「施策①：生活圏となっている町内施設や地区内拠点までのアクセス性を向上させる交通の導入」の実現に向け、町内の交通資源を有効活用して、濁川地区（石谷・石倉地区の通学を含む）や駒ヶ岳・赤井川地区から本町市街地を結ぶ移動手段について、地域内フィーダー系統として新たな公共交通の導入を検討に向けた実証運行を実施。

(2) 実証運行の対象地区・運行日

- ①濁川地区（毎週月曜日・金曜日）※通学支援便（1便）については、平日毎日運行
- ②駒ヶ岳・赤井川地区（毎週火曜日・木曜日）

(3) 実証運行スケジュール

- ・令和4年10月以降：無償での実証運行を開始
- ・令和5年4月以降：有償での実証運行を開始
- ※庁内及び事業者との調整等で若干の変動する可能性あり

(4) 活用車両及び運行事業者

- ・町所有の日産キャラバンを運行事業者に貸与し、実証運行を実施
- ・運行事業者については、町での予算確保後、入札行為を経て決定する見込み
- ※安全運転の観点から、一般乗用旅客自動車運送事業者、福祉有償運送運転者講習を修了している事業者、もしくは、森町からの運送委託業務等の指名事業者から、選定予定

(5) その他

- ・実証運行期間中は、簡易的なアンケート調査による利用意向等を検証（時期・期間未定）
- ・実証運行及び本格運行は、自家用有償運送で実施を予定



■前回会議からの変更点

- ・事務局で前回会議で提出した路線（案）及び時刻表（案）を走行
- ・停留所の設置が難しい箇所を検証し、停留所設置の必要性や望ましい停車場所の検討
- ・地域住民が、なるべく分かりやすい停留所名に一部変更
- ・これまでの地域住民との意見交換を踏まえ、利用が見込まれる箇所で、利用者の乗降にかかる時間も想定した時刻表の一部見直し

詳細は別紙のダイヤ案及びルート案で説明いたします

■検証を踏まえた実証運行までの検討事項

- ・バス停留所の必要性
⇒施設前に停車、ゴミステーションへの掲示、函館バス停留所の活用などができる箇所が多いため、掲示方法も含め検討
- ・車輛乗降時の利用しやすさの創出
⇒手すりやステップなど、簡便に用意できるもので設置を検討

鹿部町実証運行
での設置事例

